

優良福利厚生法人（総合）受賞

## セガサミーホールディングス株式会社

～経営課題を解決するための様々な福利厚生～

セガサミーホールディングス株式会社(以下「同社」)は、株式会社セガとサミー株式会社を中核会社とする、総合エンタテインメント企業グループの持ち株会社である。ハタラクエール2023において総合評価でトップ5に選ばれ、優良福利厚生法人（総合）として表彰された。

同社総務サービス部福利厚生課長の出口雅士さんと、同課安念敬太さんにお話を伺った。

## 受賞のポイント

福利厚生表彰・認証制度の審査は、図表1で示す6つの評価軸でスコア化・評価している。同社は①経営課題への対応と③制度充実で高く評価された。

同社の「①経営課題への対応」関連の取り組みでは、経営戦略にひもづいた人事戦略を展開し、戦略の実現に必要な人材を育成するために福利厚生を活用していることが挙げられる。

「③制度充実」関連の取り組みでは、多様な従業員が働きやすい環境を整備するため、多くの制度を提供している。

また、制度の新設・充実にも前向きに取り組んでいることも評価された。

## 福利厚生の実施目的、経営者・担当者の思い

同社グループは「感動体験を創造し続ける～社会をもっと元気に、カラフルに。～」というミッションを掲げているが、顧客に感動を届けるためには社員自身が心身ともに健康であり、自ら感動体験をインプットすることが重要だと考えている。

そのため、同社では福利厚生制度の充実に注力するとともに、アスリート社員による健康増進イベントや「セガサミーの森」における自然体験イ

セガサミーホールディングス株式会社 概要  
(2023年1月31日現在)

業種	その他非製造
事業概要	総合エンタテインメント
社員属性別数	正規社員446人 非正規社員52人
非正規社員の割合	10.4%
正規社員の男女比	男性75% 女性25%
平均勤続年数	1.9年（正規社員） ※約8割が2021年4月1日付転籍入社のため
平均年齢（正規社員）	41.9歳
多い職種	事務職

図表1 ハタラクエールの審査6分野

評価軸	評価内容
①経営課題への対応	自法人の人事・労務上の課題をどれほど把握し、その課題に福利厚生の活用でどれだけ対応しているか
②現状把握	福利厚生の目的をどう位置付け、福利厚生がどれだけ効果を発揮しているかを把握しているか、把握の方法はどうしているか
③制度充実	福利厚生制度をどれだけ整備しているか、さらに現状を踏まえて今後充実の方向性はあるか
④運用充実	実施している福利厚生制度が十分利用されているか、正社員だけでなく非正規社員を含む多様な従業員にも福利厚生が適用され、利用されているか
⑤福利厚生への熱意	経営者および福利厚生担当者の福利厚生取り組みへの理念・ポリシー・思いは十分か
⑥その他	自発的離職の程度など

イベント、社員の家族を本社に招待して開催する「セガサミーファミリーデー」など、同社の強みを活かした様々な社内イベントを実施している。

福利厚生を通して就業環境や社内コミュニケーションを充実させることが、社員のエンゲージメントを高め、グループ一丸となって頑張れる原動力になると信じており、今後も制度内容の周知や利用率向上に向けた取り組み、新たな施策の検

討・導入を行っていきたいと考えている。

**企業内大学「セガサミーカレッジ」** エンタテインメントの領域で事業を持続的に成長させていくため「人財力」を重要課題の一つに挙げる。こうした課題に対応するのが、グループ会社を横断した多様な研修や講座を展開する制度／企業内大学「セガサミーカレッジ」だ。

コンセプトは、「セガサミーらしいリーダーとして成長する機会」と「自ら学びたいときに学べる場」を提供すること。各種ビジネススキル講座や、第一線で活躍する著名人を招いた講演会など、年間140を越す講座を展開している。18年9月の開講以来、グループ20社以上、延べ約2万人の社員が受講している。

また、グローバルな企業グループとして今後も成長していくため、多様なカルチャーを持つ人財を増やすことにも力を入れており、育成プログラムの一環としてオンライン英会話講座の受講を支援する。英会話初級コースとビジネス英会話コースを自己負担なしで受講できるようにしている。

### 働きやすさをサポートする制度

**企業内保育所「そらもり保育園」** 仕事と育児の両立支援を目的に19年4月1日、企業内保育所「セガサミーそらもり保育園」を開園した。

園名は、「セガ」のコーポレートカラーのブルー（空）と「サミー」のコーポレートカラーのグリーン（森）に由来するという。動物たちが出迎えるエントランス、森へと続く洞窟をイメージした廊下、森をイメージした保育ルームなど、子供たちがのびのびと過ごすことができる環境を演出している。

内装には、同社が環境保全活動の場としている長野県の民有林「セガサミーの森」のカラマツ材を使用している。父母のどちらかがセガサミーグループの役職員、契約社員、アルバイト社員であれば利用できる施設で、開所時間は平日の8時～19時。保育対象は生後57日～2歳までで、定員は21名となっている。

開設初年度は5名の園児が通い、21年度は8名が通った。

産休・育児休業明けの社員のスムーズな職場復帰や、多様な働き方を支援するとともに、子育てに携わる社員が生き生きと活躍できる環境整備に

図表2 主な福利厚生制度

福利厚生の領域	実施している施策
住宅	社宅、持ち家資金の直接貸付・提携ローン
医療・健康	予防接種、禁煙支援、人間ドック、睡眠支援、生活習慣改善支援、ヘルスケアポイント、健康情報、社内エクササイズ教室、スポーツ・フィットネス施設、感染症予防対策、健康状態の把握
保険保障	総合福祉団体定期保険、団体障害・医療保険、GLTD、団体介護保険、保険料補助、医療費負担の軽減制度、労災上乗せ給付制度
両立支援	企業主導型保育所、出産・育児に関する相談窓口等、不妊治療に対する休暇付与・費用補助、介護費用補助、介護相談、病気治療の支援、保育関連施設、ベビーシッター等の育児サービスの費用補助、育児用品の購入補助、教育ローン、高齢両親の見守り支援
生活支援	福利厚生パッケージ、社員食堂、リモートワーク勤務者への費用補助、各種相談窓口、慶弔関連給付、レジャー・旅行、宿泊・保養施設、購買、家事代行費用の補助
資産形成	資産形成支援制度、従業員持株会、ライフプランセミナー
自己啓発	外部セミナー・研修会、資格取得支援
社内コミュニケーション	社内イベント・懇親会、従業員旅行
その他	リフレッシュ・永年勤続・アニバーサリー休暇、在宅勤務者への対応、自己啓発・ボランティア・慶弔・私傷病・通院休暇

取り組んでいる。

**感動体験をインプットする休暇** 法定休暇とは別に、年間3日を上限にした有給休暇「感動体験休暇」を設け、社員自身が感動体験をインプットすることをサポートしている。

これまでに本休暇が取得された事例としては、「ライブを観に行って一体感を味わう」「話題のゲームをとことん楽しむ」「婚姻届を提出する」「子供の入学式に出席する」「得意なスキルを活かして専門学校で講師を務める」などがあった。

顧客に期待以上の驚きや喜びを提供する新しい製品の開発やサービスの向上につなげることを目的にしたエンタテインメントを提供する会社だからこそのユニークな休暇制度といえる。

**時間ごとの有給休暇** 1日・半日単位だけではなく、1時間単位で細かに有給休暇を取得できるようにしている。急な早退や中抜けをする際など

に使用できるため、社員のフレキシブルな勤務を支援している。

**副業制度「JOB+」** 本業以外の個人の能力の向上や自己実現によって、結果として同社グループの企業価値向上や新たなイノベーション創出を促進できると考えて作られた制度である。利用例としてスポーツ・音楽・書道の指導や、コンサルティング業など、多種多様な副業が、所定の要件を満たし会社の審査に通ることを条件に認められている。

**ダイバーシティ推進の取り組み** ダイバーシティ推進に関する基礎知識を学ぶためのe-ラーニングを実施し、外部相談窓口も設置している。

LGBTQ+の取り組みでは、各種制度において同性パートナーを配偶者と同じ扱いとし、性別適合手術やホルモン治療を受ける際に積立年休を利用できるなど、先進的に取り組んでいる。

職場におけるセクシュアル・マイノリティを対象とした取り組みの評価指標「PRIDE指標2022」にて「ゴールド」を受賞した。これは4年連続となる。

**介護支援** 法定の93日を超えた介護休業に伴う無収入期間に対する「金銭的サポート制度」、介護帰省に伴う「移動費用の助成制度」、家族介護にかかる一時費用ならびに継続的に発生する費用を対象とした「貸付金制度」といった従業員を金銭的にサポートする制度を整備している。

また、働く時間を選択できる「セレクトタイム制度」、働く場所を選択できる「セレクトロケーション制度」など、世の中で問題となっている介護離職を防止するために考えられた様々な介護支援制度も整備している。

**社員食堂** 点在していたグループ会社を一カ所に集約したことでシナジー効果が生まれている。グループ社員の交流拠点となっているのが、本社ビル9階にある社員食堂だ。旅の疲れを癒やす宿舎をイメージして「JOURNEY'S CANTEEN」と名付けられた。

食事はもちろん、ダーツ・ビリヤードなどを通して社員間の交流を深められる場所もあり、夜はお酒の飲めるバーも併設されている。

営業時間はカフェコーナーが8時～17時、食堂が11時30分～14時（ランチ）、18時～19時30分（夕食）、アルコール類提供時間は18時～20時30分で

## ランチタイムで賑わう社員食堂



あり、それぞれの時間帯ごとに豊富なメニューを提供している。

そして、食堂の隣にはワークスペース「FREEPORT」が併設されており、社員同士のコミュニケーション活性化や新しいアイデアの創出を促している。

一方で、本社以外の事業所で勤務する社員に対しては、行きつけの飲食店を社員食堂として使えるようにする決済代行サービス「びずめし」を導入し、毎月一定額の食事代を補助している。

これは勤務地によって福利厚生格差が生じ社員間で不公平感が出ないように配慮するものだ。

## 社員の声に耳を傾け、新たな施策を検討・導入

充実した福利厚生制度を提供するため、イントラネットを使って制度内容の積極的な周知をするとともに、年1回福利厚生アンケートを行っている。アンケート結果から社員のニーズや、各制度の利用状況、利用していない理由の把握に努め、制度の新設や見直しを行っている。

**今後の課題と取り組み** いかにも良い制度を用意しても、社員に活用されなければ意味をなさないため、今後も制度内容をしっかりと周知していきたい。

「この会社で働けて良かった」「会社のためにもっと頑張ろう」「家族にも自慢できる会社だ」と社員に思ってもらえるよう制度の更なる充実を目指したいと、出口さん、安念さんは語る。

「福利厚生課」という専門部署の存在から、同社グループ経営層の福利厚生による経営課題解決への期待が感じられた。